

第53回 東京・第54回 大阪 スガウエザリング学術講演会のお知らせ

〔第53回 東京〕 開催日：平成23年11月22日（火）
会 場：アルカディア市ヶ谷 3階富士の間

〔第54回 大阪〕 開催日：平成23年12月 1日（木）
会 場：大阪国際会議場 10階会議室
(グランキューブ大阪)

後 援：文部科学省
協 賛：(社)高分子学会 (社)色材協会 (公社)自動車技術会 (社)日本ゴム協会
(財)日本ウエザリングテストセンター (社)日本塗料工業会
日本プラスチック工業連盟 (社)日本防錆技術協会 (一社)表面技術協会
(社)腐食防食協会

主 催： 財団法人 スガウエザリング技術振興財団

■ プログラム

テーマ 未来を担うウェザリング技術

開催 期日 会場 時間割	東京 (第53回)	大阪 (第54回)
		平成23年11月22日 (火) アルカディア市ヶ谷 3階富士の間 〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25 TEL03-3261-9921
9:30~9:40	開会の挨拶 評議員会議長 春山志郎	理事 須賀茂雄
[1] 9:40~10:40	塗料用ふっ素樹脂の誕生から応用までの30年と今後の展望 旭硝子株式会社 化学品カンパニー東京支店コーティングG 主幹 高柳敬志	
[2] 10:40~11:40	【東京】 太陽電池モジュールの認証試験規格と、今後の信頼性技術 一般財団法人電気安全環境研究所 (JET) 研究事業センター 太陽電池技術グループ グループマネージャー 加藤 宏	【大阪】 新規な腐食促進試験条件による建築用ねじの腐食寿命の評価 社団法人日本防錆技術協会関西支部 副支部長 (元大阪府立産業技術総合研究所 主任研究員) 佐藤幸弘
11:40~12:30	休憩 (昼食付)	
[3] 12:30~13:30	グローバル大気腐食データベースの構築(2) -垂鉛及び銅- ISO/TC156(金属)WG4(大気腐食)主査 (スガウェザリング技術振興財団 腐食研究委員会) 石川雄一	
[4] 13:30~14:30	ウェザリングと雲科学 北海道大学 低温科学研究所 雲科学分野 教授 藤吉康志	
14:30~14:40	休憩	
[5] 14:40~15:40	遮熱塗料の設計ポイントと標準化 日本ペイント株式会社 汎用塗料事業本部開発部 チームリーダー 加茂比呂毅	
[6] 15:40~16:40	多様化する自動車用材料の防錆課題と腐食評価技術 日産自動車株式会社 要素技術開発本部 材料技術部 車両先行開発グループ アシスタントマネージャー 三谷貴俊	

(敬称略)

17:00~19:00 終了後、講師を囲んで懇親会を行います。

■ 参加方法

- 参加費 講演会聴講：無料 (昼食付)
懇親会：有料2,000円 (消費税込み)
- 参加登録制 定員350名
- 申込み方法 参加登録をご希望の方は、当財団Webサイト (www.swtf.or.jp) より参加申込みフォームにてお申込み下さい。
登録完了後ご返信いたします。(定員になり次第締切りとさせていただきます。)
尚、FAXでお申込みをご希望の方は、裏面の参加申込書をご利用下さい。

●事務局 東京…………… (財)スガウェザリング技術振興財団 tel 03-3354-5248 fax 03-3353-4753
〒160-0022 新宿区新宿 5-4-14 E-mail: info@swtf.or.jp

大阪…………… (財)スガウェザリング技術振興財団 tel 06-6386-2691 fax 06-6386-5156
〒564-0053 大阪府吹田市江の木町 3-23 E-mail: osaka@swtf.or.jp

講演概要

たか やなぎ たか し
〔1〕高柳敬志

「塗料用ふっ素樹脂」に対する社会的要請に対応して誕生した樹脂設計・開発・応用の30年の展開を振り返る。耐候性に関する基礎評価、実構造物長期評価結果やキーポイントの応用技術および経済的、社会的要請への価値と効果を検証し解説する。さらに溶剤形、水性、粉体などの環境対応形樹脂の開発・応用と貢献度を報告する。最後に高耐候性塗料の重要性と将来のビジョンを展望する。

か とう ひろし
〔2〕加藤宏〔東京〕

近年太陽電池モジュールの生産量・設置量は、驚異的な上昇を続けている。この太陽電池モジュールを使用するための要件の1つには、太陽電池モジュールの認証試験規格がある。しかし、この認証試験規格は、太陽電池モジュールの初期性能を評価するスクリーニング試験に留まるとも言われている。そこで、本講演では、現行の認証試験規格内容の紹介とともに、今後必要な信頼性確保を目指した活動について紹介する。

さ とう ゆき ひろ
〔2〕佐藤幸弘〔大阪〕

屋外で使用される金属材料の耐食性評価に多くの腐食促進試験方法がある。しかしながら、これらの方法で、建築用のねじやファスナー部品の耐食性を定常的に評価するには企業にとって負担であり、相関性にも課題がある。そこで、操作が容易でしかも実曝露と相関性の高い試験条件を考案した。この条件により市場に流通しているねじなどの表面処理部材の腐食寿命を評価した結果を紹介する。尚、実曝露は中国重慶の研究機関と連携し中国でも行っている。最近のアジア圏での腐食調査状況についても併せて紹介する。

いし かわ ゆう いち
〔3〕石川雄一

昨年本学術講演会で紹介した炭素鋼のグローバル大気腐食データベースに引き続き、亜鉛（亜鉛めっきを含む）及び銅のデータベースの構築と大気腐食マップの作成について述べる。また大気腐食のメカニズム、国際規格（ISO）による大気腐食性分類方法、長期間の腐食挙動の特徴についても紹介する。

ふじ よし やす し
〔4〕藤吉康志

雲科学では、「雲を発生させるプロセスと雲がもたらす現象」全てをシームレスに研究する。従って、「太陽光、雨、雪、霧、風」といったウェザリングをもたらす現象は、まさに雲科学の研究対象である。本講演では、雲の性質を基礎から説明すると共に、「風を覗て、雲を掴む」最新技術によって初めて明らかとなった、ウェザリングに深く関与する興味深い大気現象についても紹介する。

か も ひろ き
〔5〕加茂比呂毅

省エネにも貢献できる機能性塗料として、近年、遮熱塗料が注目されてきている。遮熱塗料の設計のポイントと耐候性における遮熱塗料特有の現象について知見を交えて説明する。また今年の夏に制定される遮熱塗料の製品JIS「屋根用高日射反射率塗料」の内容について紹介するとともに、標準化する際に議論になった点について解説する。

み たに たか とし
〔6〕三谷貴俊

自動車に求められる防錆性能は、お客様にとって、当たり前の耐久性能である。そのため、お客様要求の防錆期間を保証した上で、コストミナマな防錆仕様を選定することが要求される。一方、近年の自動車業界を取り巻く環境の変化とともに、材料の多様化が進んでおり、それぞれの材料に適した腐食評価技術開発が必要となっている。今回は、多様化する自動車用材料の防錆課題と腐食評価技術について紹介する。

■ 参加申込書 (FAXでお申し込みの場合は、こちらをご利用ください。)

スガウエザリング技術振興財団 行

(東京)FAX 03-3353-4753

(大阪)FAX 06-6386-5156

聴講会場 (無料)	東京 (11月22日) ・ 大阪 (12月1日)	(いずれかに○印)
懇親会 (有料)	参加する ・ 参加しない	(いずれかに○印)
ご勤務先		
ご勤務先住所	〒 都道府県	
T E L		
F A X		
ご所属		
ふりがな ご氏名		
電子メール	(参加登録のご連絡をいたしますので、必ずご記入下さい。)	

当日は、ご名刺を受付にお示し下さい。

■ 懇親会費の支払方法

当日、懇親会場受付にて現金 2,000 円 (消費税込み) をお支払下さい。

■ 会場のご案内

東京会場

〔アルカディア市ヶ谷 3階富士の間〕
〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25 TEL03-3261-9921



- 地下鉄 有楽町線・南北線 市ヶ谷駅 (1またはA1) 出口から徒歩 2分
- 地下鉄 新宿線 市ヶ谷駅 (A1またはA4) 出口から徒歩 2分
- JR 中央線 (各駅停車) 市ヶ谷駅から徒歩 2分

大阪会場

〔大阪国際会議場 (グランキューブ大阪) 10階会議室〕
〒530-0005 大阪市北区中之島 5-3-51 TEL06-4803-5555



- 京阪電車中之島線「中之島(大阪国際会議場)駅」(2番出口すぐ)
- JR環状線「福島」駅から徒歩(約10分)
- JR東西線「新福島」駅(2番・3番出口)から徒歩(約10分)
- 阪神電鉄「福島」駅3番出口から徒歩(約10分)
- 地下鉄「阿波座」駅(中央線1号出口・千日前線9号出口)から徒歩(約10分)

尚、シャトルバスが「リーガロイヤルホテル」(大阪国際会議場東隣)とJR「大阪駅」西側(高架下)の間で運行しておりご利用いただけます。